

東大阪『モノづくり観光』新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン

一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会

大阪モノづくり観光感染症防止ガイドライン策定会議

座長 野田 邦雄（モノづくり観光推進協会副会長）

一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会では、人生で数度という限られた修学旅行、研修旅行が新型コロナウイルス感染症拡大で中止が続いており、貴重な学習経験の機会が失われていることを憂慮し、当協会会員及び関係者においてガイドライン策定会議を設置し、ご利用される皆様もお迎えする（一社）大阪モノづくり観光推進協会会員一同も安心してプログラムを実施して頂けるようガイドラインを策定しました。我々も最大限の対応策を行ってまいりますので、何卒ご利用される皆様方もご理解、ご協力をお願いいたします。

■受入工場の対応

★3 密回避対策

- ・外気を多く取り入れるなど空調設備機能を最大限作りに活用。
- ・窓やドアの開放及び扇風機等による換気の徹底。
 - ➔工場によっては、製造工程、建築物構造上開放できないところは、空調設備の事前消毒は実施。
- ・人と人の間隔の確保
 - 班分けによる分散見学➔最大受け入れ人数が少なくなる工場があります。
 - ➔対応可能スタッフ、スペースが限られますので、交代による見学を実施頂くこともあります。従いまして、所用時間が通常より長くなることもあります。
- ・工場案内担当スタッフ全員のマスク着用（必要に応じて、フェイスシールドも着用）。
- ・集合写真は風通しの良い場所を選びます。

★接触感染対策

- ・工場入口には消毒薬を設置。
- ・トイレやドアノブ等、共有部を定期的に消毒する。
- ・従業員の日常的な手洗い、咳エチケットの励行。
- ・クラスターが発生する危険がある従業員の休憩場所、食事可能では可能な限り密を避け、大声での会話を控える、手洗い、手指の消毒の徹底を図る。

■講演会場・食事・宿泊会場の対応

◎ホテルセイリュウの対応

★3 密回避対策

- ・チェックイン前の客室の消毒及び換気の徹底。
- ・換気機能を最大限作動。特にフロント、ロビーの定期的換気。
- ・可能な限り広い会場を用意、着席間隔を広く設置。

★接触感染対策

- ・正面玄関・会場入り口・トイレなど各所に消毒液設置と日常的な消毒の徹底。

- ・通常の清掃業務に加え、客室備品、エレベーターのボタン、化粧室等共有スペース等の定期的な除菌消毒の実施。
- ・食事は、蓋付容器で用意、到着前には配膳を完了しておくことによる従業員との接触を軽減する。
- ・従業員の体調管理とマスク着用、出勤時の手洗い、うがい、除菌消毒の義務付け。

◎セイリュウ以外の会場

★基本的には当方がご紹介する会場は、公民館等公的な会場ですので、入場者数を半数に設定する等制約されていますので、3密、接触感染対策については安心ですが、通常より大きなキャパの会場を確保する、持ち込み飲食は不可等経費的により大きなご負担をさせていただかなければいけない可能性があることを、予めお許し願います。事前に旅行会社様とご相談します。

■大阪モノづくり観光推進協会事務局

★接触感染対策

- ・常時マスク着用、マイク利用時等必要な場面でフェイスシールド着用。
- ・毎日の検温等体調管理の実施。
- ・消毒薬を常時携帯する等、消毒の徹底。

★緊急時コールセンター等

- ・最寄りの保健所・医療機関・緊急時のコールセンターに関する情報提供（セイリュウと共有）。

■参加者

- ・旅行中の感染防止対策（※）の事前指導（対策の実行と理解・協力）
- ・健康観察の徹底、発熱・体調不良者の参加取りやめ
- ・検温の実施、確認書面の提出
- ・感染者と濃厚接触のある場合は保健所・医療機関の指示のもと参加判断
- ・食事・入浴・就寝時間以外のマスク着用
- ・手拭き用タオル、ハンカチ等は個人持ち（1日1枚）、共用禁止
- ・屋内施設利用者はスリッパ等持参（必要な工場は連絡します）
- ・旅行中の定期的な検温実施と体調不良者発生の場合の特別な配慮
- ・アレルギーや既往症の事前調査に加え、重症化リスクの可能性把握の上主治医等の見解確認での参加検討

※感染防止対策 感染予防の行動、手洗いや咳エチケット、乗車中・食事中等の大声で会話を控えるなど。

■学校及び受託旅行会社対応依頼

- ・学校側の感染防止対策ガイドラインの提出。
- ・健康観察の徹底及び代表者による参加者の体調確認書（別紙）の提出。
- ・可能であれば、参加者全員、『接触感染アプリ COCOA』または『大阪コロナ追跡システム』をインストール願います。事後に感染者と接触したことが発覚した場合、健康状態に応じて医療専門家の相談を受けるよう、連絡が入りますので、参加者も不安の軽減となります。

参考資料

『東大阪モノづくり観光』新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン策定会議委員名簿
東大阪市内の緊急時対応センター、病院リスト

本確認書は、貴校（団体）及び当関係者が相互の信頼の基で、安全にツアーを実施するために提出をお願いしております。大変恐れ入りますが、ご理解の上、御提出願います。

一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会
専務理事/事務局長 足立 克己

確 認 書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本校（団体）が大阪モノづくり観光プログラムに参加するに当たり、以下の事項を遵守することを誓約いたします。遵守できない場合は、いかなる措置をとられても異議申し立てをいたしません。

- 1 当日訪問前に全員の体調を確認し、体温測定します。発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合は自粛します。
- 2 全員マスク等を着用し、飛沫防止を徹底します。
- 3 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触者が無いことを確認します。
- 4 参加後 14 日以内に参加者で新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかにモノづくり観光推進協会に報告します。
- 5 基礎疾患のある参加者は、医師と相談の上、参加していることを確認します。
- 6 確認書内容を利用者全員に周知し、感染拡大防止に努めることを促します。

令和 年 月 日

団体名 _____

代表者 氏名（自署） _____